

第5学年〇組 外国語科指導案

令和〇年〇月〇日(曜)〇校時
 指導教諭 〇 〇 〇 〇 印
 指導者 〇 〇 〇 〇 印

1 単元 “Welcome to Japan.” 好きな日本文化を紹介しよう。
 (NEW HORIZON Elementary 5 Unit7 参照)

2 目標

自分のことを伝えたり、相手に日本文化についてよく知ってもらったりするために、日本の行事や遊びや食べ物などについての短い話を聞いて概要を捉えたり、自分が好きな日本文化について、伝えようとする内容を整理した上で話したりすることができる。また、自分が好きな日本文化について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書くことができる。

3 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。
話すこと (発表)	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

※聞くこと、書くことについては目標に向けては指導を行うが、本単元で記録に残す評価は行わない。

4 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 「発表」	<知識> 日本の行事や食べ物、遊びなどの日本文化等に関する語句, Why do you like~? We have~. What do you do~? I usually~. You can~.の表現について理解している。 <技能> 日本の行事や食べ物、遊びなどの日本文化等に関する語句, Why do you like~? We have~. What do you do~? I usually~. You can~.などを用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。	相手によりよく分かってもらえるように、日本の行事や食べ物、遊びなど、自分の好きな日本文化などについて、考えや気持ちなどを話している。	相手によりよく分かってもらえるように、日本の行事や食べ物、遊びなど、自分の好きな日本文化などについて、考えや気持ちなどを話そうとしている。

5 基盤

- (1) 学習指導要領における領域別「話すこと(発表)」「ウ」を受けて設定している。「外国語活動」や「外国語」の目標の中で、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成するのは「言語活動を通して」とされている。外国語科での言語活動は「聞くこと」「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「読むこと」「書くこと」である。この単元は、上記のうち1つを言語活動の軸として構成していく。単元のゴールである「話すこと(発表)」の活動では、「相手に伝わるように工夫したり、どんな表現が使えるか考えたりしながら、自分の好きな日本文化について紹介する姿」を育てることが期待できる。

この単元は、日本の文化について伝え合うことを目標としている。1学期に、市の国際交流員の方々に来ていただき、それぞれの国を紹介してもらった World Day を行った。今回はその国際交流員の方々に向けて、日本の文化について英語を使って紹介する活動を設定している。

この単元は、他国の文化について理解を深めると共に、自国である日本の文化の良さについても気付くことができる単元である。また、英語を使ってただ日本のことを紹介するだけでなく、自分の好きな日本文化について紹介することでさらにその良さが相手に理解してもらえよう、伝え方を考えたり、話す内容を整理したりして紹介する技能が身に付く単元である。この単元を通して、子どもたちが「相手に配慮しながら」話すリアルな場面として捉え、既習事項を使いながら自分たちで判断し、表現していく力を付けていきたい。

(2) 本学級の児童は外国語に対する関心が高く、外国語で自分の思いを伝え合うことや、外国語の授業や World Day などの時間で様々な文化や習慣を知ることに対して意欲が高い。また、外国語を通して友だちや先生のことをさらに深く知ることができることにとても喜びを感じている児童が多くいる。

また、外国語の授業だけでなく、様々な場面でお互いに気付いたことを話したり、クラスの友だちの前で何か発表したりすることに対して、「いいね。」や「もっとこうしたら良いと思う。」など、言い合える関係ができています。しかし、一方的に伝えるだけになってしまったり、言い方や言葉が相手にとってきつくなってしまったりすることもある。この単元を通して、国際交流員の方々に向けて自分の伝えたいことを話すことで、相手に自分の伝えたいことが伝わっているか確認したり、声の大きさや速さ、表情を工夫したり、「相手に配慮して話す」ことが意識できるよう学習を進めていく。そして、「相手に伝わっているか確認したり伝え方などを考えたりする」などは、この授業を通して、外国語だけでなく他の授業や日常場面とも繋げられるようにしていきたい。

(3) 本単元のゴールは、国際交流員の方々を招き、World Day～Japan version～をすることとしている。今回の World Day は、児童が国際交流員の方々に向けて、日本の文化について伝える活動をする。導入で、国際交流員の方々からの 5 年生へ宛てた好きな文化の紹介動画を見たり、「好きな文化を教えてください」というメッセージを受け取ったりすることで、自分が好きな日本文化を伝えたいという思いがもてるようにする。単元の中で、日本の文化にはどのようなものがあるのか共有したり、日本文化についての短い話を聞いたりしながら、自分の好きな日本の文化は何かイメージがもてるようにする。また、紹介するために、気持ちや味などを表す言葉を知ったり、既習の表現を使って好きな日本の文化について聞き合ったり、理由をたずね合う活動をしたりしながら紹介する際の表現が身に付くようにしていきたい。また、今回は紹介カードを作って伝える。写真や絵だけではなく、より伝えたいことが伝わるようにするために紹介したいものの名前を英語やローマ字で書いたり、It's fun. や It's beautiful. などの気持ちや様子を表す言葉を書いたりする。発表の準備として、お互いに見合ったり、クロームブックを使って録画して自分で見てみたりし、話し方や表情などを考え、「相手に配慮して話す」ということを意識できるようにしていきたい。

本時は、自分が伝えたいことについて、どんな表現の言葉が使えるか知ったり、考えたりする時間とする。様子や味を表す言葉について新しく知ったり、教師と ALT のやり取りから、既習である形や色などの表現も使えるということに気付いたりすることを通して、子どもたちの使える表現の幅を増やしていきたい。

World Day～Japan Version～の時には、国際交流員の方々から反応してもらったり、分かったことや聞いた感想を伝えてもらったりする。そうすることで、自分たちの文化をより知ってもらったり、自分が伝えたいことが伝わったりすることの喜びを実感できるようにしたい。また、「相手に配慮して話す」ことの大切さや良さに気付けるようにしたい。

6 展開と評価計画（全 8 時間）

（「話すこと[発表]」に焦点をおいた単元の指導と評価の計画）

時	◎ねらい ○学習内容	◆評価規準 ◇評価方法
1	◎日本の行事や食べ物、遊びなどの言い方を知る。 ○国際交流員の方々から好きな日本の文化を紹介するという単元のゴールを知り、日本の行事や食べ物、遊びなどの言い方を知る。 ・【Let's Watch and Think】 ・【Let's Sing】	本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
2	◎日本の行事や食べ物、遊びなどのまとまりのある話を聞いて、その概要を捉えることができる。 ○日本の行事や食べ物、遊びなどの話を聞く。 ・【Let's Sing】 ・【Small Talk】What do you do on New Year's Day? ・【Let's Try1】キーワードゲーム ・【Starting Out】 ・【Let's Listen1】 ・【Sounds and Letters】	本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
3 本時	◎様子や気持ちを表す言葉を知ったり、日本の行事や食べ物、遊びなどについて言ったり聞いたりすることができる。 ○日本の行事や食べ物、遊びなどがどんなものかを様子を表す言葉等を使って話す。 ・【Let's Sing】 ・【Let's Chant】 ・【Small Talk】What season do you like? ・【Let's Listen2】先生と ALT の話 ・【Let's Try2】3 hint quiz 日本の文化について	本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
4	◎好きな日本の文化について、好きな理由やどんなものなのか話することができる。 ○何を紹介するか考え、することやできることなどをワークシートに書き出す。	本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・【Let's Sing】 ・【Let's Chant】 ・【Let's Listen3】 ・【Let's Try3】紹介し合う。 ・【Sounds and Letters】 	
5	<p>◎好きな日本の文化について、たずねたり答えたりすることができる。</p> <p>○前回考えた紹介をもとに、お互いにたずね合ったり、紹介カードの構想を考えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【Let's Sing】 ・【Let's Chant】 ・【Let's Try4】 ・【Sounds and Letters】 	本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
6	<p>◎相手によりよく分かってもらえるように、自分の好きな日本の文化について、例文を参考に、その名称や様子などを表す語句を書くことができる。</p> <p>○自分が紹介したい行事や食べ物、遊びの様子を、It's～.を使って書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【Let's Sing】 ・【Let's Chant】 ・【Small Talk】What do you enjoy in○○(季節)? ・It's～.を使って書いたり、紹介カードを作ったりする。 	本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
7	<p>◎相手によりよく分かってもらえるように、自分の好きな日本の文化について、考えや気持ちなどを話すことができる。</p> <p>○グループになり、お互いの紹介を見合ったり、どのように紹介するか考えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【Let's Sing】 ・【Let's Chant】 ・紹介し合う。 	<p>「話すこと[発表]」の記録に残す評価</p> <p>◇知・技</p> <p>◆行動観察、グループ発表、紹介カード、ふり返り</p>
8	<p>◎国際交流員の方々に向けて、自分の好きな日本の文化について、考えや気持ちなどを話すことができる。</p> <p>○World Day～Japan Version～.を開催し、実際に国際交流員さんに紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【Let's Sing】国際交流員の方々に聞いてもらう。 ・文化紹介 ・感想を聞いたり、意見交換をしたりする。 	<p>「話すこと[発表]」の記録に残す評価</p> <p>◇思・判・表</p> <p>◆行動観察、グループ発表、紹介カード、ふり返り</p> <p>◇主</p> <p>◆行動観察、グループ発表、紹介カード、ふり返り</p>

7 本時の学習

(1) 本時の目標

様子や気持ちを表す言葉を知ったり、日本の行事や食べ物、遊びなどについて言ったり聞いたりすることができる。

(2) 展開

学習場面と子どもの取組	教師の支援と評価
<p>1. Greeting Hello, ○○ sensei. What day is it today? It's △△day. What's the date today? It's November 12th.</p> <p>2. Let's Sing Yokoso!を歌う。</p> <p>3. Let's Chant Why do you like winter? を聞き、言ってみる。</p> <p>4. Small Talk T: What season do you like? S: I like summer. T: Why do you like summer? S: We have beautiful blue sky and sea. I like ice cream. It's delicious. I can swim in the sea. It's great!</p> <p>・様子を表す言葉を知る。 beautiful, interesting, popular, fun など</p>	<p>・全体で挨拶をしたり、日直やALTの先生の質問に答えたりし、外国語科の授業の雰囲気をつくる。</p> <p>・児童の様子を見ながら、速度を変えたり字幕を付けたりし、自信をもって単語や表現を言えるよう工夫する。</p> <p>・児童が見通しをもてるように、教師とALTでSmall Talkをし、どのように話すのかモデルを見せる。</p> <p>・教師から個別に話しかけることで、児童がそれらの表現を使って英語で言える場面をつくる。</p> <p>・様子を表す言葉を使うことで、さらに自分の伝えたいことが言えることの良さに気付けるようにする。</p>

5. 本時のめあてを確認する。

日本の文化について言ったり聞いたりしよう。

6. Let's Listen2

教師とALT の話を聞き、線を結ぶ。

T: Let's do 3 hint quiz about My favorite Japanese culture.

A: Ok!

T: Question No.1. What this event? Can you guess?

Hint 1. We have this event in summer.

Hint 2. We can see it in night sky.

Hint 3. It's beautiful and big sounds.

A: I got it. Is it fireworks display?

T: Yes. That's right!

7. Let's Try2

友だちとペアになり、興味のある日本の文化についての Three hint quiz を出し合う。

S1: Can you guess? Hint 1, It's spring. Hint 2, It's beautiful. Hint 3, You can see cherry blossoms.

S2: It's hanami.

S1: That's right.

8. 本時を振り返る。

- 3ヒントクイズを英語で言ったり聞いたりして、たくさんの友だちのクイズが分かって楽しかったよ。
- 日本の行事を紹介する言葉が分かったよ。それを使って、交流員さんに好きな文化を伝えられそうだよ。

- 前時で確認した日本の行事や遊びなどについてまとめたものや、picture dictionary で他の様々な遊びなどにも触れ、言い方が分かるようにする。
- Let's Try2のクイズの出し方の参考となるようにする。

- クイズをする手がかりとして、前時で考えた日本の行事や遊びなどの一覧をワークシートにして配る。
- 必ず様子や気持ちを表す語句も使うようにし、いろいろな言葉に慣れ親しめるようにする。
- 色や形などの既習の表現も使えることを伝え、表現の幅が広がるようにする。
- 言い方が分からないものは日本語で話して良いこととするが、後で picture dictionary や ALT と確認して共有することで、表現の幅が広がるようにする。
- 何人かみんなの前でクイズをし、全員で考える時間をとることで、よい表現を自分の表現に取り入れることができるようにする。

本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。

- 振り返りをクラスで共有することで、できたことや、次回への見通しなどがもてるようにする。